

遊び場面における被験者の立場についての研究

佐藤 公代

(教育心理学研究室)

(教平成4年4月27日受理)

I 問題と目的

視点の問題にもかかわることであるが、挿絵と呈示様式の問題として、挿絵の情報が視点を設定するにあたって、より効果的であると思われる。文章情報の視点と挿絵の情報の視点のどちらが、物語理解と記憶に効果があるのかを考えてみる。

佐藤公代(1984, 1992)の研究で、読み手の視点をどこにおくかによって、物語の再生や理解に違いが見られ、特に視点をあてた人物に対する気持ちの理解がより深まることが明らかにされた。

本研究では、読み手(聞き手)が視点を設定するにあたって、挿絵がどのような効果をもつのかを調べる。同じ物語を、異なった登場人物の視点で語るという2種類の文章の語りを作り、それぞれの登場人物を中心に描き、着色されている2種類の挿絵の紙芝居を用いる。

仮説は次の通りである。

- ① あらすじや登場人物について作話する場合、文章情報と同じ視点の挿絵を用いた場合の方が、異なった視点の挿絵を用いた場合よりも作話率が高いであろう。
- ② あらすじや登場人物についての理解度は、文章情報と同じ視点の挿絵を用いた場合の方が、異なった視点の挿絵を用いた場合よりも高いであろう。

II 方 法

- 1) 被験者：松山私立E幼稚園，4歳児60名，5歳児60名，6歳児60名，計180名。
- 2) 期間：1990年11月16日～11月30日
- 3) 材料：子ども達の日常生活に近いテーマを取り上げ、友達との遊びの中での気持ちの行き違いを題材にした「あたらしいおともだち」という物語を黒田千秋氏が作成したものをを用いる。けんたくんとあゆみちゃんという同程度に主要な登場人物と、あと4人の登場人物がでてくる物語をB4版の大きさの紙芝居にしたものを下記の条件5)にそって、中心的登場人物“けんたくん”と“あゆみちゃん”のそれぞれの視点に被験者が視点を移せるように、それぞれの登場人物の語り口調にし、それぞれの登場人物が中心に大きく目立つように着色も中心人物のみにする。また、下記4)の再生作話課題の時に使用するために、紙芝居の挿絵を縮小したカード(一場面60mm×80mm×8枚)を用意する。

付表1に紙芝居の内容を示す。

4) 手続き

各年齢の園児を無作為に4グループに分け、各条件別に1グループ15名を実験者のもとに呼び、次のような手続きで紙芝居を読み聞かせる。紙芝居の1枚目の絵を見せながら、各条件とも「今から紙芝居をしますよ。このお話には、あゆみちゃんという女の子と、けんたくんという男の子がでできます。さあ、どんなお話かよく聞いてね。では始まりますよ。」と1枚目のそれぞれの人物の絵をさしながら教示する。読み方は、それぞれの人物の語り口調にし、別の登場人物のセリフは、声を変えてわかり易いようにする。紙芝居の読みきかせ中に名前がでてくる所では、その人物の絵を指して、「これが〇〇ちゃんね。」というように確認しながら読み進める。紙芝居読み聞かせ終了後、個別実験で再生作話課題、理解度テストを行う。再生作話課題では、「さあ、今のお話はどんなお話だったか、この絵を見ながら、今度は〇〇ちゃんがお姉さんにお話してくれるかな?」と言って、被験者に1場面ごとに再生作話させる。その際、紙芝居の絵を縮小したカードは被験者に渡し、被験者自身がめくったりできるようにする。

付表2に理解度テストを示す。

5) 条件

文章情報

- {語り1：あゆみちゃんの語りの文章
- {語り2：けんたくんの語りの文章

挿絵の情報

- {紙芝居A：あゆみちゃん中心の挿絵
- {紙芝居B：けんたくん中心の挿絵

条件I-i) …紙芝居Aを見せながら語り1を読み聞かせる。

条件I-ii) …紙芝居Bを見せながら語り2を読み聞かせる。

条件II-i) …紙芝居Bを見せながら語り1を読み聞かせる。

条件II-ii) …紙芝居Aを見せながら語り2を読み聞かせる。

6) 課題の採点化

(1)絵毎の再生作話課題

付表3に再生作話課題の採点基準を示す。筋の展開についての10項目、あゆみの行動、気持ちについての10項目、けんたの行動、気持ちについての10項目の計30項目を設けて、各1点とする。誤りについては0点とし、30点満点である。

(2)理解度テスト

付表2から、①④⑦の3問は筋の展開、内容についての理解をみるもの、②⑤⑧の3問はけんたの気持ちについての理解をみるもの、③⑥⑨の3問はあゆみの気持ちについての理解をみるもの、⑩の1問はその他の心情についての理解をみるもの、の計10問で各1点として10点満点である。

III 結果と考察

Fig. 1 に再生作話課題における各条件群の総合の再生作話率を示す。

Fig. 1 から、総合においては各年齢とも各条件間に有意差が見られない。

条件I-i) とI-ii) はそれぞれ、あゆみの語りであゆみ中心の挿絵、けんたの語りでけ

んた中心の挿絵というように、文章情報と挿絵の情報が同じ登場人物の視点になっており、条件Ⅱ-i)とⅡ-ii)はそれぞれあゆみの語りでけんた中心の挿絵、けんたの語りであゆみ中心の挿絵というように、文章情報と挿絵の情報が異なった登場人物の視点になっている。よって、挿絵の効果をみるために、文章情報は同じもので挿絵が異なる条件Ⅰ-i)とⅡ-i)、条件Ⅰ-ii)とⅡ-ii)を比較する。

Table 1 に条件Ⅰ-i)とⅡ-i)間の“あらすじ”と“けんたの行動、気持ち”と“あゆみの行動、気持ち”についてのそれぞれの再生作話率の比較を示す。

Table 1 から、あゆみの語りであゆみ中心の挿絵を見せた条件Ⅰ-i)では、どの年齢においても、作話率は“あらすじ”>“あゆみの行動、気持ち”>“けんたの行動、気持ち”の順で、あゆみの語りでけんた中心の挿絵をみせた条件Ⅱ-i)では、どの年齢においても、作話率は“あらすじ”と“けんたの行動、気持ち”についてはほぼ同じで、“あゆみの行動、気持ち”についての作話率は低くなっている。“あらすじ”についての作話率を見ると、4歳児では、文章情報と異なった視点の挿絵を用いた条件Ⅱ-i)の方の作話率が低く、1%水準で有意差が見られる($t=1.9$)。これは、聞いた文章情報と見た挿絵の情報とで視点が異なっており、そのため、筋の展開

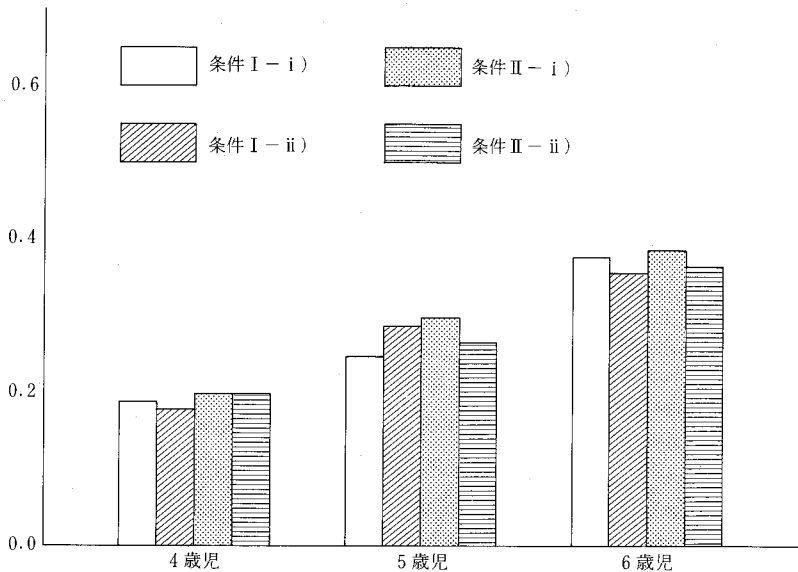


Fig. 1 再生作話課題における、各条件群の総合の再生作話率

Table 1

再生作話課題における条件別の再生作話率と有意差検定

条件	筋道	けんた	あゆみ	
4歳児	Ⅰ-i)	0.37	0.03	0.17
	Ⅱ-i)	0.24	0.27	0.08
有意差検定	$t=2.83$ **	$t=6.79$ ***	$t=2.23$ *	
5歳児	Ⅰ-i)	0.42	0.08	0.24
	Ⅱ-i)	0.41	0.36	0.13
有意差検定	$t=0.13$	$t=5.52$ ***	$t=2.87$ **	
6歳児	Ⅰ-i)	0.61	0.21	0.33
	Ⅱ-i)	0.47	0.47	0.23
有意差検定	$t=2.54$ *	$t=5.47$ ***	$t=1.53$	

に混乱が生じたためであろう。5歳児になると、ほとんど同じ作話率になっている。6歳児では条件Ⅱ-i)の方の作話率が低く、5%水準で有意差が見られる ($t=2.5$)。これは、条件Ⅰ-i)ではけんたについての作話は難しいので、あらすじについての作話が多くなり、条件Ⅱ-i)ではよりけんたについての作話に力を入れたため、あらすじについての作話がおろそかになってしまったためだと思われる。よって、仮説①は支持される。

Fig. 2に“けんたの行動、気持ち”についての再生作話率を示す。

Fig. 2から、どの年齢においても、条件Ⅰ-i)よりも条件Ⅱ-i)の方の再生作話率が高く、0.1%水準で有意差がある(4歳児： $t=6.8$, 5歳児： $t=5.5$, 6歳児： $t=5.5$)。同じ文章情報聞いても、あゆみ中心の挿絵を見た場合では、けんたの行動、気持ちについての作話はほとんどないが、けんた中心の挿絵を見た場合には、けんたの行動、気持ちについての作話が、あゆみの行動、気持ちについての作話よりも有意に多い。これは、聞き手が物語を理解し、自分の言葉で再生作話する場合に、挿絵による情報に大きく影響されていることであろう。

Table 2に再生作話課題における各項目の再生作話率と年齢間の有意差検定を示す。

Table 2から、あらすじについては各条件とも0.1%水準で有意差が見られる(Ⅰ-i)： $F=10.14$, Ⅱ-i)： $F=12.64$)。けんたの行動、気持ちについての作話はⅠ-i)において、0.1%水準で($F=12.05$)、Ⅱ-i)においては1%水準で($F=7.46$)有意差が見られる。条件Ⅰ-i)では、4, 5歳児に比べ、6歳児になると、けんたの行動、気持ちについての作話も増え、5~6歳間に1%水準で有意差が見られる($t=2.93$)。これは、低年齢ほど再生作話する際、挿絵の情報に影響されていることを示している。6歳児になると、聞いた物語をより創造的に理解、解釈している。条件Ⅱ-i)でも、5~6歳間に5%水準で有意差が見られる($t=2.08$)。

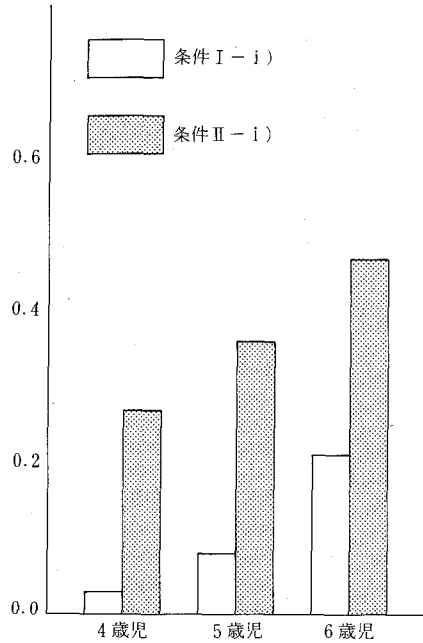


Fig. 2
Ⅰ-i)とⅡ-i)のけんたの行動・気持ちの再生作話率

Table 2
再生作話課題における
各項目の再生作話率と年齢間の有意差検定

項目	4歳児	5歳児	6歳児	有意差検定
Ⅰ-i)	筋道	0.37	0.42	$F=10.14$ ***
	けんた	0.03	0.08	$F=12.05$ ***
	あゆみ	0.17	0.24	$F=3.91$ *
Ⅱ-i)	筋道	0.24	0.41	$F=12.64$ ***
	けんた	0.27	0.36	$F=7.46$ **
	あゆみ	0.08	0.13	$F=8.42$ **

Fig. 3 にあゆみの行動，気持ちについての再生作話率を示す。

Fig. 3 から，どの年齢においても，条件Ⅱ-i) よりも，条件Ⅰ-i) の方の再生作話率が高い。4歳児に5%水準で ($t=2.23$)，5歳児に1%水準で ($t=2.87$) 有意差が見られる。低年齢ほど文章情報よりも挿絵の情報に影響され，年齢が高くなるにつれ，文章情報もよく聞き，両方の情報から物語を理解するようになる。

Table 2 から，条件Ⅰ-i) では5%水準で ($F=3.91$)，条件Ⅱ-i) では1%水準で ($F=8.42$ ，5-6歳： $t=2.46$) 有意差が見られる。

Table 3 に条件Ⅰ-ii) と条件Ⅱ-ii) の再生作話率の比較を示す。

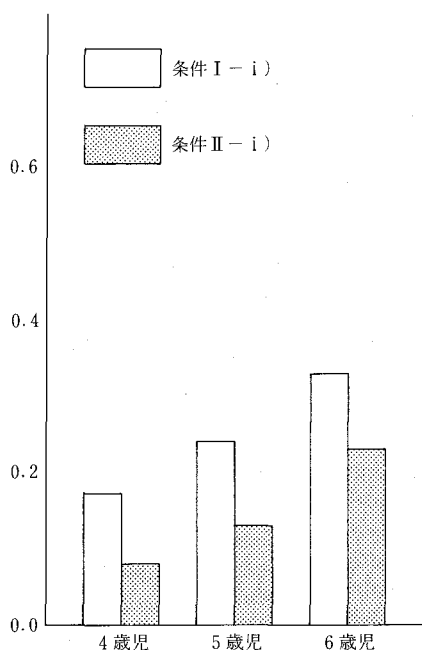


Fig. 3
Ⅰ-i) とⅡ-i) のあゆみの行動・気持ちの再生作話率

Table 3 から，けんたの語りでけんた中心の挿絵をみせた条件Ⅰ-ii) では，

どの年齢においても，作話率は“けんたの行動，気持ち” > “あらすじ” > “あゆみの行動，気持ち”の順になっており，けんたの語りであゆみ中心の挿絵を見せた条件Ⅱ-ii) では，どの年齢においても，作話率は“あらすじ” > “あゆみの行動，気持ち” > “けんたの行動，気持ち”の順になっている。文章情報と異なった視点の挿絵を用いた場合の方が高くなっている。また，登場人物についての作話率を見ると，挿絵に中心的に描かれている人物についての作話が多くなっている。

Fig. 4 に再生作話課題における作話全部を100%としたそれぞれの項目の作話率を示す。

Fig. 4 から，けんた中心の挿絵を用いた条件では，文章情報がどちらの人物の視点でも，けんたの行動，気持ちについての作話が多く，その内訳はほぼ同じである。あゆみ中心の挿絵

Table 3

再生作話課題における条件別の再生作話率と有意差検定

条件	筋道	けんた	あゆみ	
4歳児	Ⅰ-ii)	0.25	0.27	0.03
	Ⅱ-ii)	0.36	0.10	0.15
有意差検定	$t=1.91$	$t=4.52$ ***	$t=2.77$ **	
5歳児	Ⅰ-ii)	0.29	0.46	0.13
	Ⅱ-ii)	0.43	0.17	0.21
有意差検定	$t=2.97$ **	$t=4.69$ ***	$t=2.07$ *	
6歳児	Ⅰ-ii)	0.39	0.49	0.21
	Ⅱ-ii)	0.59	0.21	0.31
有意差検定	$t=4.12$ ***	$t=6.58$ ***	$t=2.30$ *	

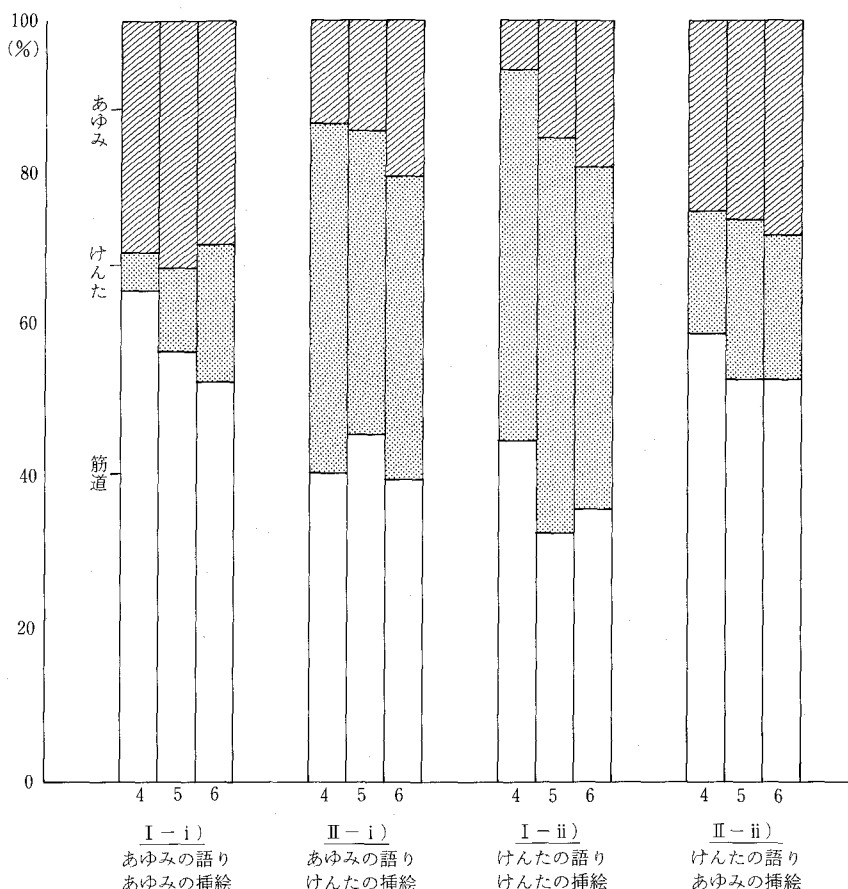


Fig. 4 再生作話課題において、作話全部を100%としたそれぞれの項目の作話率 (%)

を用いた条件でも、文章情報がどちらの視点でも、作話の内訳はほぼ同じである。しかし、けんた中心の挿絵を用いた場合 (II-i) と I-ii)) に比べると、挿絵に中心的に描かれている人物についての作話が占める割合は少ない。その分、あらすじについての作話が多くなり、登場人物についての作話率に差が見られる。そこで、Table 4 に各登場人物について、被験者が作話した内容を見てみる。

Table 4 から、どの条件においても、けんたについては、行動についての作話が気持ちについての作話よりも多いが、あゆみについては、条件 I-ii) (けんたの語りでけんた中心の挿絵) を除いては、気持ちについての作話が行動についての作話よりも多くなっている。Table 5 にその主な作話の内容を多い順に示す。

Table 5 から、けんたの行動は筋の展開に直接関わっているものが多く、あゆみの行動は筋の展開に直接関わっていなかったため、その行動、気持ちは幼児には理解しにくく、また作話も難しかったから、あゆみ中心の挿絵を用いた条件 I-i) と II-ii) は、あらすじについての作話が多くなったのであろう。

Fig. 5, 6 に I-ii) と II-ii) のけんたの行動、気持ちとあゆみの行動、気持ちの再生作

遊び場面における被験者の立場

Table 4

再生作話課題において、登場人物の行動についてと気持ちについて、被験者が作話した内容

条件Ⅰ-ⅰ)		行気	条件Ⅱ-ⅰ)	行気	
4歳児	けんた	探検ごっこやれんけん怒ってる。 ミニカー見付けてくれた。	いじわるそうな顔した。 探検ごっこしようって言った。 探検ごっこしたかった。 怒った。 竹とかいっばい持ってマントしてる。 ミニカー隠してる。 いい気味だって笑ってる。 困ってる。 ミニカー見付けて返してあげた。 てれてる。 子分にしてやると言った。	2 1 2 3 4 5 3 5 7 4 3	2 1 2 3 4 5 3 5 7 4 3
		計	3 0	22 17	
4歳児	あゆみ	よしおくんを公園に連れてきた。 砂遊びしようと言った。 すべり台しようって言った。 困っている。泣きそう。 けんたくんを探してって言った。 喜んでる。嬉しそう。 ありがとう。	お砂遊びをした。 困った。 ミニカー探している。 喜んでる。 ありがとう。	6 2 2 6 2 2 4	1 7 1 5 2 2 4
		計	12 12	2 14	
5歳児	けんた	探検ごっこしようと言った。 遊んでくれないから怒ってる。 ミニカーを隠した。 ミニカーを見付けて返してくれた。 子分にしてやると言った。	探検ごっこしようと言った。 探検ごっこしたかった。 つまらない。 怒った。 ミニカーを砂に埋めて隠した。 いい気味だって笑った。喜んだ。 困っている。 よしおがかわいそうと思った。 ミニカーを見付けてくれた。 よかったと思った。 子分にしてやると言った。	2 2 1 5 2	5 3 3 1 13 5 4 2 13 2 5
		計	10 2	36 20	
5歳児	あゆみ	よしおくんに一緒に遊ぼうと言った。 よしおくんを公園に連れてきた。 砂遊びしようと言った。 砂遊びしてる。 よかったと思った。 ミニカーを探してる。 困ってる。泣きそう。 笑った。喜んだ。 ありがとう。	よしおくんを公園に連れてきた。 小さいから砂遊びしようと言った。 すべり台しようと言った。 すべり台してる。 泣いている。 ミニカーを探している。 喜んでる。 ありがとう。	2 6 4 4 1 1 5 7 6 5	4 1 1 4 2 3 4 1 6 5
		計	18 19	13 7	
6歳児	けんた	よしおくんよろしうな。 探検ごっこしようと言った。 怒った。 ミニカー見付けてくれた。 子分にしてやると言った。	探検ごっこしようと言った。 探検ごっこしたかった。 いろんな道具持って来た。 ミニカーを隠した。 いじわるしてやろう。 ざまーみろと思った。いい気味だ。 よしおがかわいそうだと思った。 悪いことしたなと思った。 ミニカーを見付けて返してくれた。 子分にしてやると言った。 よかったと思った。てれてる。 また遊ぼうねって言った。	5 1 15 9	8 6 1 14 1 6 2 4 14 9 4 1
		計	29 2	46 24	
6歳児	あゆみ	よしおに明日から遊ぼうと言った。 よしおを公園に連れてきた。 砂遊びしようと言った。 砂場で遊んだ。 笑ってる。嬉しそう。 すべり台であそんだ。 困っている。泣きそう。 ミニカーを探した。 見付かってよかったねと喜んだ。 ありがとう。 明日から一緒に遊ぼうね。	よしおを公園に連れてきた。 砂遊びしようと言った。 楽しい。にこにこした。 困った。泣きそう。 ミニカー一生懸命探した。 ありがとう。	4 7 3 4 4 2 4 4 8 5 1	7 8 4 7 2 4 7 10
		計	24 29	17 21	

※数字は作話した人数

		条件Ⅰ-ii)	行気	条件Ⅱ-ii)	行気
4	けんた	探検ごっこしたかった。 探検ごっこしようと言った。 怒っている。 よしおが生意気だと思った。 ミニカーを砂の中に隠した。 よしおがかawaiiそうと思った。 ミニカーを見付けて返した。 子分にしてやると言った。	4 2 3 1 12 1 13 4	2 探検ごっこしようと言った。 怒った。 ミニカー隠した。 ミニカー見付けて返した。 子分にしてやると言った。	2 1 2 8 2
		計	33	7	14
4	あゆみ	よしおを連れてきた。 砂遊びしてる。 喜んだ。	2 2 1	よしおを連れてきた。 砂場で遊ぼうって言った。 すべり台で遊んだ。 喜んでる。笑ってる。 泣きそうになった。 ミニカーを探してる。 ありがとう。	3 2 1 4 7 4 2
		計	4	1	10
5	けんた	よろしうな。 探検ごっこしようと言った。 探検ごっこしたかった。 怒った。 いじわるしてやろうと思った。 ミニカーを隠している。 いい気味だと思った。 悪いことしたなって思った。 ミニカー見付けて返した。 心の中でごめんねと言った。 かawaii奴だなあと思った。 明日から一緒に遊んでやる。 子分にしてやると言った。	3 1 6 7 3 13 2 8 15 2 2 1 6	1 探検ごっこしようって言った。 探検ごっこしたかった。 つまらん。 怒った。 ミニカーを砂場に隠した。 笑ってる。 もとはぼくが悪いんだ。 ミニカー探して返した。 かawaii奴だなあと思った。 子分にしてやると言った。	4 1 1 3 2 1 1 8 3 2
		計	37	32	16
5	あゆみ	よしおを連れてきた。 小さいから砂遊びしようと言った。 砂場で遊んだ。 すべり台してる。 ミニカーを探してる。 困った。泣きそう。 嬉しい。 ありがとう。	6 3 1 1 2 4 2 2 1	よしおを連れてきた。 砂場で遊んだ。 楽しそう。 すべり台しようと言った。 困った。泣きそう。 探している。 ありがとう。	7 5 3 1 10 1 7
		計	13	7	14
6	けんた	よろしうな。 探検ごっこがしたかった。 探検ごっこしようと言った。 道具をいっぱい持って来た。 怒っている。いやな気持ち。 ミニカーを砂の中に隠した。 少し困らせてやろうと思った。 いい気味だと思った。 よしおがかawaiiそうになってきた。 困った。悪いことしたなと思った。 ミニカーを見付けて返した。 子分にしてやると言った。	4 7 7 1 7 14 1 4 1 15 10	探検ごっこがしたかった。 怒っている。 つまらん。 ミニカーを隠した。 ちょっぴりいい気味。 よしおがかawaiiそうと思った。 ミニカーを見付けて返してあげた。 心の中でごめんねと謝った。 照れくさそう。 明日から一緒に遊ぼう。 子分にしてやると言った。	3 1 2 5 2 1 12 1 1 1 4
		計	47	29	21
6	あゆみ	よしおくんを公園に連れてきた。 砂場で遊んだ。 小さいから砂遊びしようと言った。 泣きそう。困ってる。 嬉しい。 ありがとう。	8 11 1 7 2 2	よしおくんを公園に連れてきた。 砂場で遊んだ。 砂遊びしようと言った。 すべり台で遊んだ。 楽しそう。 泣きそう。困ってる。 ミニカーを探した。 ありがとう。 喜んだ。	7 3 3 5 3 17 4 5 6
		計	20	11	22

話率を示す。

Fig. 5 から、けんたについての作話率を見ると、どの年齢においても、けんたの語りでけんた中心の挿絵を用いた条件 I - ii)の方が、あゆみ中心の挿絵を用いた条件 II - ii)よりも作話率は高くなっており、0.1%水準で有意差が見られる(4歳児… $t=4.52$, 5歳児… $t=4.69$, 6歳児… $t=6.58$)。

Fig. 6 から、あゆみについての作話率をみると、あゆみの挿絵を用いた条件 II - ii)の方が、けんた中心の挿絵を用いた条件 I - ii)よりも、作話率は高く、4歳児では1%

Table 5 主な作話の内容の多い順

〈けんたについて〉(各条件・各年齢の合計)

○ミニカーを見つけた。探した。	126人	行 動
○ミニカーをかくした。	81人	行 動
○子分にしてやると言った。	56人	行 動
○探検ごっこしたかった。	30人	気 持 ち
○怒った。いやな気持ち。	30人	気 持 ち
〈あゆみについて〉		
○困っている。泣きそう。	85人	気 持 ち
○よしおを公園に連れてきた。	63人	行 動
○砂遊びした。しようと言った。	52人	行 動
○喜んだ。笑った。	44人	気 持 ち
○ありがとう。	44人	気 持 ち

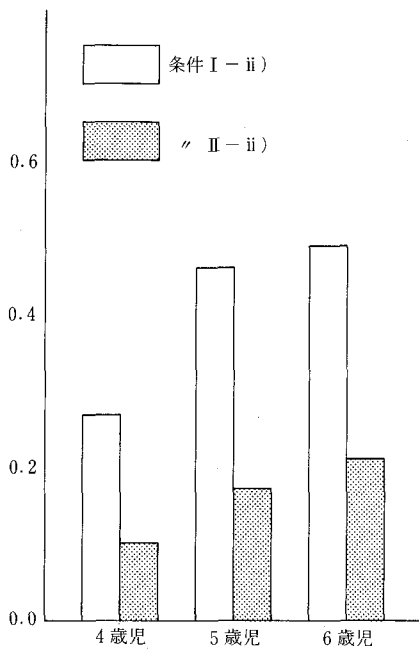


Fig. 5
I - ii) と II - ii) のけんたの行動・気持ちの再生作話率

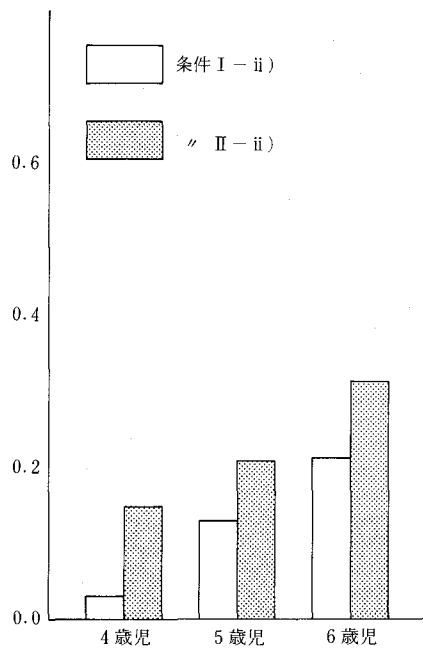


Fig. 6
I - ii) と II - ii) のあゆみの行動・気持ちの再生作話率

水準で ($t=2.77$), 5, 6歳児では5%水準で(5歳児… $t=2.07$, 6歳児… $t=2.30$)有意差がある。

Table 6 に各項目の再生作話率を示す。

Table 6 から、条件 I - ii) では、けんたとあゆみについて、0.1%水準で有意差が見られる(けんた: $F=13.62$, あゆみ: $F=12.56$)。けんたについて、4~5歳間に1%水準で($t=3.54$)、あゆみについては4~5歳間に1%水準で($t=3.16$)、5~6歳間に5%水準で($t=2.20$)有意差が見られる。条件 II - ii) では、あゆみについて5%水準で有意差が見られる($F=5.12$)。

以上から、物語を再生作話する場合、挿絵の情報に影響され、低年齢ほど、文章情報よりも挿絵の情報を多く利用して作話している。

Table 7 に理解度テストにおける条件別の理解度を示す。

Table 7 から、条件間に有意な差は見られず、あらすじについての理解度は、ほぼ同じである。なお、“その他の心情”についての理解は、設問がやさしすぎたため、4条件とも100%かそれに近い正答率である。

Fig. 7 に“けんたの気持ち”と“あゆみの気持ち”についての理解度を条件別に示す。

Fig. 7 から、条件 I - ii) では、どの年齢においても、けんたの気持ちについての理解度の方が、あゆみの気持ちについての理解度よりも高い。条件 II - ii) は、4, 5歳児では、あゆみについての気持ちの方の理解度が高いが、6歳児になると逆転して、けんたについての気持ちの方の理解度が高い。このことから、4, 5歳児では、文章情報よりも挿絵の情報から、より多く物語を理解し、記憶しているが、6歳児になると、文章と挿絵の両方の情報を利用し、より創造的な理解ができ、記憶している。よって、仮説②は支持される。また、文章情報の視点の人物、けんたの気持ちについての理解度は、どちらの視点の挿絵を用いても、ほぼ同じである。

Table 8 に条件 I - i) と II - i) 間の理解度を示す。

Table 6
再生作話課題における
各項目の再生作話率と年齢間の有意差検定

項 目	4 歳 児	5 歳 児	6 歳 児	有意差検定	
I ii	筋 道	0.25	0.29	0.39	F = 2.99
	けんた	0.27	0.46	0.49	F = 13.62 ***
	あゆみ	0.03	0.13	0.21	F = 12.60 ***
II ii	筋 道	0.36	0.43	0.59	F = 13.43 ***
	けんた	0.10	0.17	0.21	F = 2.79
	あゆみ	0.15	0.21	0.31	F = 5.12 *

Table 7
理解度テストにおける条件別の理解度と有意差検定

条 件	筋 道	けんたの 気持ち	あゆみの 気持ち	その他の 心情	
4 歳 児	I - ii)	0.49	0.38	0.20	0.87
	II - ii)	0.51	0.33	0.40	0.93
有意差検定	t = 0.19	t = 0.63	t = 1.95	t = 0.59	
5 歳 児	I - ii)	0.84	0.53	0.33	1.00
	II - ii)	0.73	0.47	0.53	1.00
有意差検定	t = 1.19	t = 0.53	t = 1.80	t = 0.00	
6 歳 児	I - ii)	0.96	0.87	0.76	1.00
	II - ii)	0.89	0.87	0.76	1.00
有意差検定	t = 1.29	t = 0.00	t = 0.00	t = 0.00	

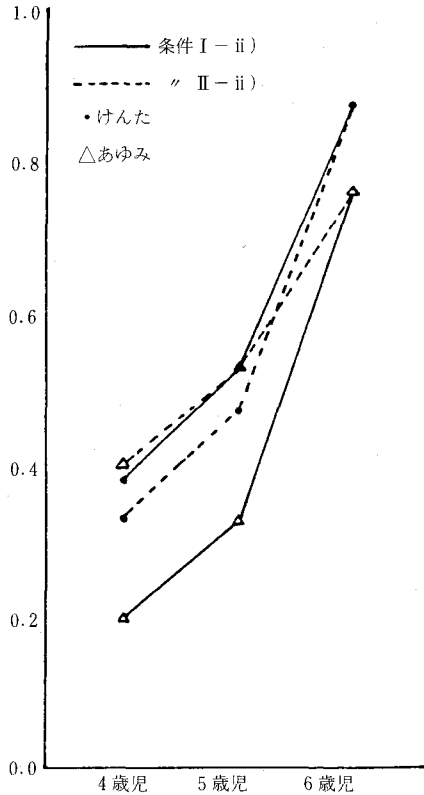


Fig. 7
理解度テストにおける「けんたの気持ち」
「あゆみの気持ち」理解度の条件 I-II
と II-II) の比較

Table 8

理解度テストにおける条件別の理解度と有意差検定

条 件	筋 道	けんたの 気持ち	あゆみの 気持ち	その他の 心情	
4 歳 児	I-i)	0.33	0.24	0.36	1.00
	II-i)	0.47	0.18	0.13	0.93
有意差検定		t = 1.26	t = 0.99	t = 2.54 *	t = 1.00
5 歳 児	I-i)	0.42	0.31	0.62	1.00
	II-i)	0.82	0.53	0.51	1.00
有意差検定		t = 4.00 ***	t = 2.38 *	t = 1.14	t = 0.00
6 歳 児	I-i)	0.62	0.44	0.73	1.00
	II-i)	0.91	0.62	0.82	1.00
有意差検定		t = 2.90 **	t = 1.76	t = 0.91	t = 0.00

Table 8 から、5、6歳児のあらすじについての理解度に有意差が見られ（5歳児： $t = 4.00$, $p < 0.001$, 6歳児： $t = 2.90$, $p < 0.01$), どの年齢においても条件 II-i) の方の理解度が高い。これは、理解度テストのあらすじについての3つの設問のうちの一つ「④よしおんのミニカーはどうしてなくなったの？」の正答率が条件 I-i) だけにおいて著しく低かったためである。

Fig. 8 に④のみの正答率を条件別に示す。

Fig. 8 から、文章と挿絵の両方から、「けんたがミニカーをかくした」という情報が得られる条件 I-II) の正答率が一番高く、ついで挿絵からの情報だけ得られる条件 II-i), 文章からの情報だけ得られる条件 II-II) の順になっているが、有意差は見られない。これに対し、条件 I-i) は著しく正答率が低く、条件 II-i) と比べて、4歳児に5%水準、5歳児に0.1%水準、6歳児に1%水準で有意差が見られる（4歳児… $t = 2.48$, 5歳児… $t = 4.75$, 6歳児… $t = 3.43$ ）。これは、あゆみの語りの文章には「けんたがミニカーをかくした」という文章はなく、また、あゆみ中心の挿絵にもけんたがミニカーをかくしている場面は描かれていないためである。しかし、6歳児になると、情報が与えられなくとも、その他の場面条件やその後の話の展開などから考えて回答したもので、少しばかり正答率は高くなり、より創造的な理解ができていると思われる。④の設問はあらすじ理解をみるために不適切であったので、

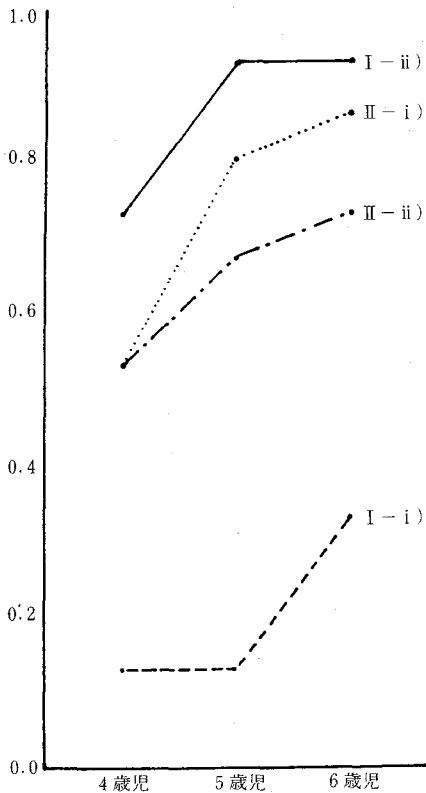


Fig. 8
理解度テストにおける条件別の④のみの
正答率

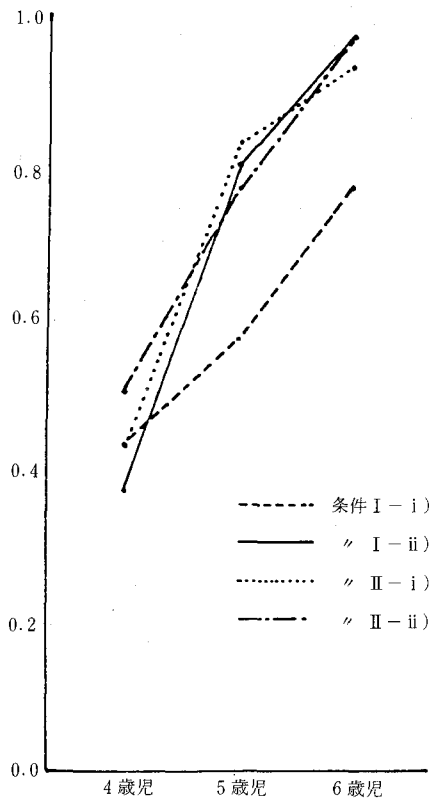


Fig. 9
理解度テストにおける条件別の④を除いた
筋道についての正答率

これを除いたあらすじについての理解度を Fig. 9 に示す。

Fig. 9 から、条件 II-i) と比べ、5歳児に 5%水準で有意差が見られたが ($t=2.13$)、ほぼ他の条件と同じ理解度になっている。

Fig. 10 にけんたの気持ちとあゆみの気持ちについての理解度を示す。

Fig. 10 から、条件 I-i) では、どの年齢においても、あゆみについての気持ちの理解度が高く、条件 II-i) では、4、5歳児では、けんたの気持ちについて、6歳児では、あゆみについての気持ちの理解度が高い。また、文章情報の視点の人物、あゆみの気持ちについての理解度は、4歳児に 5%水準で有意差が見られる ($t=2.54$)。

IV 結 論

①物語のあらすじについての理解は、文章情報の視点と同じ視点の挿絵を用いた場合も、文章情報の視点と異なった視点の挿絵を用いた場合も、ほぼ同じ理解度を示した。

②再生作話課題においては、文章情報の視点と同じ視点の挿絵を用いた場合の方が、文章情報の視点と異なった視点の挿絵を用いた場合よりも、あらすじについての再生作話率が高かった

が、それは、挿絵によるよりも、登場人物の筋の展開への関わり方の違いによるものである。

③登場人物の気持ちの理解については、文章情報の視点と同じ視点の挿絵を用いた場合も、文章情報の視点と異なった視点の挿絵を用いた場合も差はない。

④再生作話課題において、登場人物の作話率は、文章情報の視点と同じ視点の挿絵を用いた場合の方が、違う視点の場合よりも多い。よって、文章情報の視点と挿絵の視点が異なる場合、文章情報の視点の人物より、挿絵の視点の人物についての作話が多く、読み手の視点が挿絵に影響されている。

⑤4、5歳児では、再生作話課題における登場人物についての作話の結果と同様に、文章情報の視点と異なった視点の挿絵を用いた場合には、その挿絵の視点の人物についての理解度が高い。6歳児では、文章情報の視点の人物についての理解度が高くなっており、文章と挿絵の両方の情報を利用し、より創造的な理解ができるようになる。このことから、物語を理解するのに、低年齢ほど挿絵に大きく影響されている。

以上をまとめると、登場人物の視点に読み手が自己の視点に移す場合に、挿絵の情報が影響し、その挿絵の人物についての作話が多くなること、その挿絵の影響は年齢が低いほど大きいこと、しかし、気持ちの理解については、6歳頃からは、挿絵だけに影響されることなく、文章情報の視点の人物についての理解も多くなり、又、文章と挿絵のどちらの情報にも視点をとっていない人物についての気持ちの理解も多くなり、より創造的な理解ができるようになる。

参 考 文 献

- 佐藤公代 1984 幼児の思考の発達に関する研究— 幼児の物語理解に及ぼす視点の役割 — 愛媛大学教育学部紀要第I部教育科学 第30巻 P.79-80
 佐藤公代 1992 幼児・児童の物語理解に及ぼす視点の役割に関する研究 愛媛大学教育学部紀要第I部教育科学 第38巻 第2号 P.57-73

付 記

実験者の黒田千秋氏、松山私立愛媛幼稚園の園長先生及び諸先生、園児達、教育心理学専修生の3、4回生(順不同)に対し、いろいろお世話になりましたことを心より深く感謝致します。

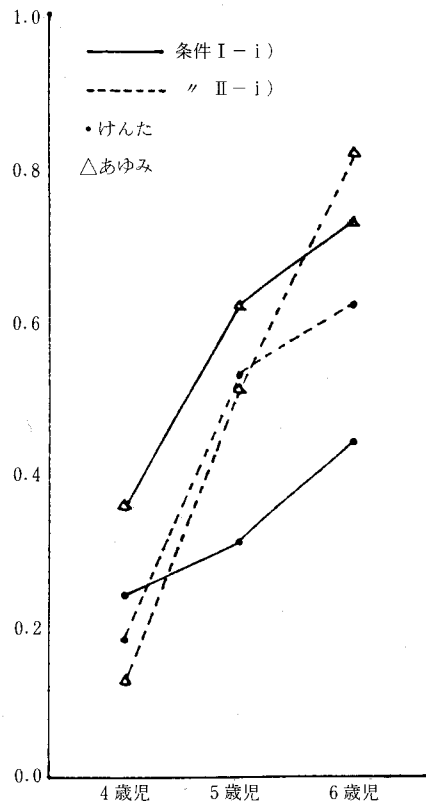


Fig. 10
 理解度テストにおける“けんたの気持ち”
 “あゆみの気持ち”理解度の条件I-i)
 とII-i)の比較

付表 1

紙芝居の内容

語り1…あゆみちゃんの語り

- ①私の名前は、あゆみです。私達は、とっても仲良し4人組なの。けんたくんと、みどりちゃん、ゆうこちゃんと、私の4人で、いつも一緒に遊んでるの。けんたくんは、とってもおもしろくてなんでもできるの。いつも私達におもしろい遊びを教えてくれるのよ。
- ②昨日、私の家のお隣によしおくんというちっちゃな男の子のいる家族が、引っ越して来たの。昨日の夜、よしおくんがお母さんと一緒に私の家に「よろしくお願ひします。」ってあいさつに来たから、私、よしおくん「明日っから一緒に遊ぼうね。」って言ってあげたの。だから今日はよしおくんを公園に連れて行ってみんなに紹介しました。
- ③そしてみんなで遊ぶことになったんだけど、けんたくんが「今日はジャングル探検ごっこだ！」っていうんな道具持って来てたの。あっそうだった、昨日約束してたんだ。でもよしおくんはまだちっちゃいから探検ごっこは無理よね。私はけんたくんに「ごめんね。今日はお砂遊びしようよ。」って言ったの。よしおくんはとっても楽しそう。よかった。
- ④今度はすべり台したいってよしおくんが言ったから、みどりちゃんとうちこちゃん私はすべり台の方へ言ったの。「けんたくん、すべり台しようよ。」って誘ったのにブイって向こうへ行っちゃった。けんたくんたら一人で何してるのかしら。でもよしおくんは、みどりちゃんとうちこちゃんとお友達になれて、私もすごく嬉しい。よかったね。
- ⑤よしおくんが「あれっ、ぼくのミニカーがない。お砂場に忘れて来たのかなあ」って言うからみんなで砂場に戻ったけどやっぱりミニカーはなかったの。よしおくんは「エーン、エーン」って泣き出しちゃった。ああ、どうしよう。困ったわ。
- ⑥なのにけんたくんたら知らん顔で「そんな泣き虫ほおっといてさ、探検ごっこしようよ。」なんて言うの。ひどいわ…。私達だけで公園のかなを一生懸命探し回ったけど、ミニカーは見付からない。よしおくんは泣きやまないし、私も悲しくなって、涙が出ちゃいそう。
- ⑦その時、けんたくんが「おーい、あったぞ、これ…」ってミニカー見付けてくれた。よしおくんは、すごく喜んじゃってる。さすがけんたくんね。ありがとう。
- ⑧よしおくんたら「ありがとう、おにいちゃん！」だって。けんたくんも照れながら「よし、おれの子分にしてやるよ。」なんて言ってる。よしおくんも「うん、子分だ、子分だ。」ってけんたくんの後ろを、ちょこちょこついて歩いてんの。本当にけんたくんがミニカー見付けてくれた良かったなあ。明日っからは、5人で仲良く遊ぼうね。

語り2…けんたくんの語り

- ①ぼくの名前は、けんた。ぼくたちは、とっても仲良し4人組だ。あゆみちゃんとみどりちゃん、ゆうこちゃんと、ぼくの4人で、いつも一緒に遊んでるんだ。そのなかでも、ぼくはあゆみちゃんが一番好きなんだ。あゆみちゃんとはとってもやさしいんだもん。
- ②今日あゆみちゃんが、ちっちゃな男の子を公園に連れて来た。名前はよしおっていうんだけど、昨日あゆみちゃんちのお隣に引っ越して来たんだって。よろしくな、よしおくん。
- ③今日はみんなでジャングル探検ごっこしようって言ってたから、ぼくいっぱい道具持って来たんだ。なのにさっ、あゆみちゃんたら、よしおはまだちっちゃいから探検ごっこはやめて砂場で砂遊びしようって言うんだ。ちえっ、そんなのつまんねえよ。みんなだっけ昨日ジャングル探検ごっこしようって約束したくせにさ…ひどいわ…。
- ④ちえっ、今度はすべり台かよう。えっ、みんな行っちゃうの？「よしおくん、よしおくん」ってなんだよ。よしおもあゆみちゃんにくっついてばかりでさ。今日来たばかりのくせして生意気だなあ。ようし、ちょっぴり困らせちえ。ぼくはよしおの持って来たミニカーを砂に埋めて、隠してやったんだ。
- ⑤しばらくして、よしおのやつ自分のミニカーがないって気付いて、泣き出したんだ。ちえっ、生意気なくせに泣き虫なのか、こいつ。ふん、ちょっぴりいい気味だよ。
- ⑥ねえみんな、そんな泣き虫ほおっといてさ、探検ごっこしようよ。そしたらみんな「それどころじゃないわよ。」ってすごい顔でらむんだ。そして、あっちこっち探し回ってる。あゆみちゃんも泣きそうになってるんだ。だんだんぼくは、悪い事したなって思ってきたんだ。だってやっぱりおもちゃを隠すなんて良くないよな。
- ⑦そしてぼくは、こっそり砂場からミニカーを堀り出して「おーい、あったぞ、これ…」って思わず言っちゃった。よしおはすごく喜んで、あゆみちゃんが「さすがけんたくんね。ありがとう。」って言うんだ。
- ⑧よしおったら「ありがとう、おにいちゃん！」だってさ。へっ、なかなかこいつかわいいな。「よし、おれの子分にしてやるよ。」って言っちゃった。「うん子分だ、子分。」ってよしおったらすごく喜んでさ、ぼくの後ろを、ちょこちょこついて歩くんだ。心のなかで「ごめんな、いじわるして。」と謝っていた。明日っからは、ぼくも砂場でよしおと遊んでやろう。そして、いろんなおもしろい遊びを教えるんだ。

付表 2

理解度テストの質問項目

- ① よしおくんが引っ越して来るまでは、いつも何人で遊んでいたのかな？
- ② よしおくんがお砂遊びを始めたとき、けんたくんは、どう思った？
- ③ よしおくんがお砂遊びをしていたとき、あゆみちゃんは、どんな気持ちだったのかな？
- ④ よしおくんのミニカーは、どうしてなくなったのかな？
- ⑤ けんたくんは、どうしてミニカーを隠したのかな？
- ⑥ よしおくんが泣き出したとき、あゆみちゃんは、どんな気持ちだったのかな？
- ⑦ よしおくんのミニカーを見付けたのは、誰だった？
- ⑧ けんたくんは、悪い子だと思う？
- ⑨ けんたくんがミニカーを見付けたとき、あゆみちゃんは、どう思った？
- ⑩ 明日からは、5人仲良く遊べると思う？

付表 3

再生作話課題の採点基準 30項目（1項目1点）

場面	作	話	筋	け	あ
(1)	けんたくんorあゆみちゃんがいる。 仲良し4人組。いつも一緒に遊んでいる。		<input type="radio"/>		
(2)	あゆみちゃんちのお隣に、よしおくんが引っ越して来た。 よしおくんに「明日から一緒に遊ぼうね」と言った。 よしおくんを公園に連れて行ってみんなに紹介した。 けんたくんが「よろしくな、よしおくん」と言った。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(3)	けんたくんがジャングル探検ごっこの道具を持って来てた。 「よしおくんはまだ小さいから、お砂遊びしよう」と言った。 みんなはお砂遊びをした。 あゆみちゃんは、けんたくんに「ごめんね」と言った。 けんたくんは「約束破ってひどいよ」と怒ってすねた。 あゆみちゃんは、楽しそう、嬉しそう。「よかった」		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(4)	よしおくんが「すべり台したい」と言った。 みんなすべり台の方へ行って遊んだ。 あゆみちゃんは、楽しそう。 けんたくんは、しょんぼり。「ひどいよ」 けんたくんが、砂場にミニカーを隠した。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(5)	よしおくんが、ミニカーがないことに気付いて泣き出した。 あゆみちゃんは、困った。 けんたくんは、ちょっぴりいい気味だと思って笑った。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(6)	あゆみちゃんは、探し回っている。泣き出しそう。 「そんな奴ほおっという探検ごっこしよう」と言った。 みんなでミニカーを探したけど、なかった。 けんたくんは、少し悪いことしたなって思ってきた。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(7)	けんたくんがミニカーを堀り出して「あったぞ」と言った。 あゆみちゃんは、「ありがとう」と言って喜んだ。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(8)	よしおくんが喜んでけんたくんの後ろをちょこちょこ歩いた。 かわいいなと思って「子分にしてみるよ」と言った。 あゆみちゃんは、嬉しかった。 明日からは、5人で仲良く遊ぼう。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>